



Title	ModedePapierII : Coupe
Author(s)	原田, 純子
Citation	デザイン理論. 2004, 44, p. 170-171
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/53034">https://doi.org/10.18910/53034</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# Mode de Papier II

— Coupe —

原田純子／神戸文化短期大学

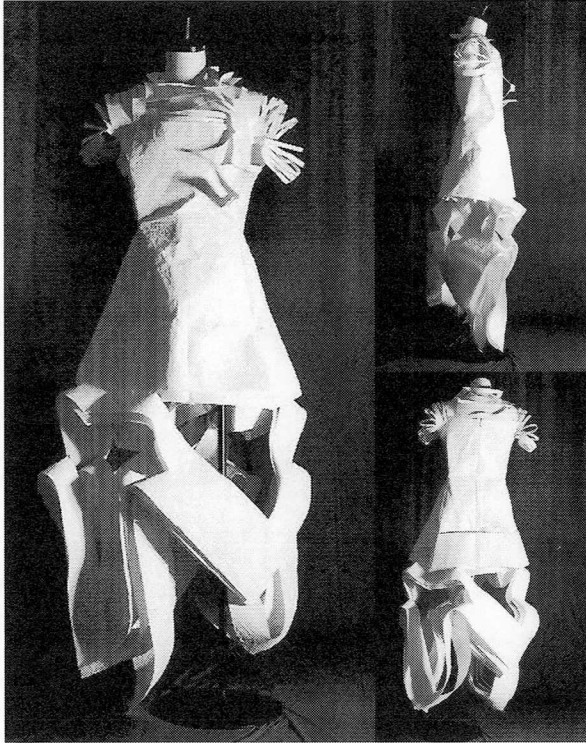


図1 作品A写真

## ■ 作品A ■

■ 平面の紙に四角形の連なりをベースとする直線的な切り込みを入れ、中心から吊り下げると紙の重さによって降下し、リズム感のある立体的なフォルムを作り出す。そして弾力的な動きのあるシルエットとなる。

そのような“Coupe-切る”造形効果を服飾作品の上で表現した。

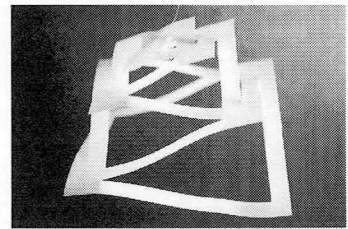


図2 作品Aアイデアソース

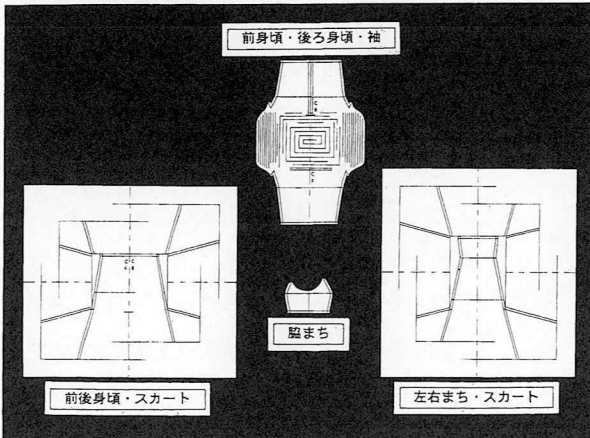


図3 作品Aパターン

## ■材料

和紙(生成) [93×54cm] : 9枚

コンシールファスナー [22cm]

: 1本

スプリングホック : 1組

絹ミシン糸 [50番]

紙は「切る」「折る」などの操作によって様々なフォルムを創り出す。特に“Coupe-切る”技法に着目し、その造形効果を活かした紙の服飾作品の提案を試みた。各作品の平面パターンはシンプルな外形とし、“Coupe-切る”加工を施すことによって表情のある立体的な服飾へと変化させた。古くは衣服材料として用いられた例のある紙子和紙を素材とし、ミシン縫製、アイロン仕上げの工程を踏み、実際に着用可能な現代的なモード作品の製作に取り組んだ。

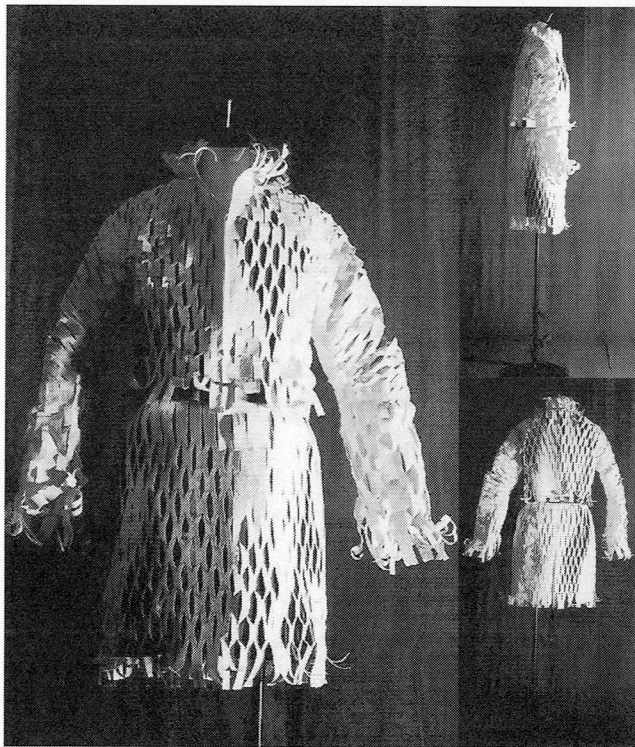


図4 作品B写真

## ■ 作品B ■

■ 平面の紙に切り込みを入れ、引っ張る力を与えると線の連なった立体的な美しいフォルムを作り出す。切り込みの長さ・間隔・方向と引っ張る力の強弱に応じて形や陰影に変化が生まれる。

そのような“Coupe-切る”造形効果を服飾作品の上で表現した。

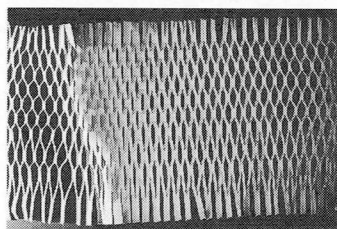


図5 作品Bアイデアソース

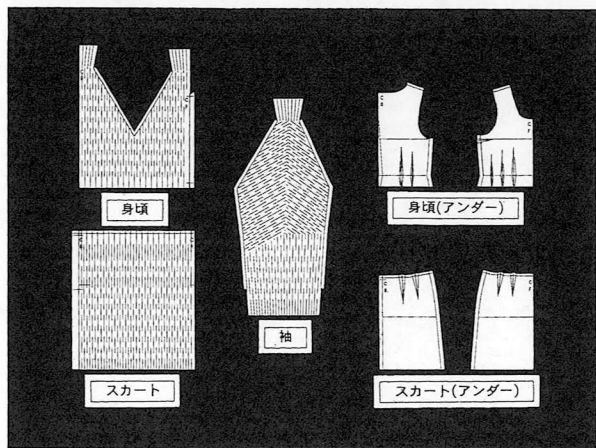


図6 作品Bパターン

## ■材料

和紙(生成) [93×54cm] : 4枚  
 和紙(紫) [93×50cm] : 4枚  
 オープンファスナー [30cm] : 1本  
 コンシールファスナー [22cm] : 1本  
 スプリングホック : 1組  
 絹ミシン糸 [50番]